

日本海総合病院では以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本機構倫理審査委員会の承認を得て行うものです。この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

急性期病院における院内レクリエーション単回参加の即時的効果

2. 研究背景と目的

A 病院では 2024 年より入院する高齢患者を対象に、院内レクリエーションを実施している。急性期病院に入院する高齢患者は入院や治療、疾患による苦痛から意欲や身体機能の低下、せん妄の発症等が起こりやすく、退院後の生活にも影響しやすい。こうした中で、院内レクリエーションは患者に対し気分転換や他者との交流機会を提供し、慢性期領域では心理的安定や意欲維持向上に繋がることが報告されている。急性期領域での院内レクリエーションについての報告も増加しているものの、レクリエーション中の患者の反応の変化についての報告は限られている。今回、急性期病院での院内レクリエーションが患者に与える影響やレクリエーションの意義を明らかにするための研究を行う。

3. 研究担当者

老人看護専門看護師 五十嵐 千里
認知症看護認定看護師 佐々木 恵理子

4. 研究方法

① データ収集期間

2025 年 4 月～2026 年 3 月

② データの収集方法

レクリエーションに参加する患者の反応をレクリエーション開始前、実施中、終了時の 3 時点で評価する。評価には身振り表現の分類表を使用する。レクリエーション参加患者の診療科や年齢、性別、認知症の有無、せん妄発症の有無、身体拘束実施の有無、離床や睡眠・覚醒リズムなどの生活状況等は電子カルテより収集する。

③ データの分析方法

エクセルによる単純集計。

④ 研究実施期間

倫理審査委員会承認日より 学会発表するまで

5. 個人情報の取り扱い

研究に使用したデータ（レクリエーション参加患者の診療科や年齢、性別、認知症の有無、せん妄発症の有無、身体拘束実施の有無、離床や睡眠・覚醒リズムなどの生活状況）についてオプトアウト方式により病院のホームページに掲載し、同意を得たものとする。データ管理については、個人が特定されないように管理を行い、個人情報は対象者が特定されることはない。

6. 問い合わせ先

日本海総合病院 治験臨床研究センター
電話 0234-26-2001（代）